特集 付加価値つくる棟換気

良い建物こそ必須に

長期住宅などが後押し 設計指定も増え堅調

棟換気メーカー各社の出荷は、住宅着工や屋根材出荷の推移に比べおおむね堅調。ブランドイメージ定着など各社の販売戦略もあるが、「棟換気が成熟分野となってきた」、「設置を勧める設計者が増えてきた」など、木造住宅の耐久性向上と同時に、棟換気の必要性に理解が高まっている。一方、ZEH（ゼロ・エネ住宅）では屋根断熱が増え、小屋裏換気自体が少なくなっている。

瓦用の棟換気部材「青空」を販売する片岡瓦工業㈱では、瓦出荷に比べて堅調な推移。十分な換気量を確保するため、大型物件では1棟で多くの換気部材を使用することも多くなり、また棟換気を指示する設計事務所も増えてきた。フラット35の住宅や長期優良住宅で換気量ベースで小屋裏換気が必要とされ、「いい建物には換気が必要という意識が定着してきた」。

樹脂製の瓦下換気部材「換気スター」を販売する㈱馬場商店でも堅調な荷動きという。棟あたりの設置量が増えたというより、「設置率が上がっているのではないか」。

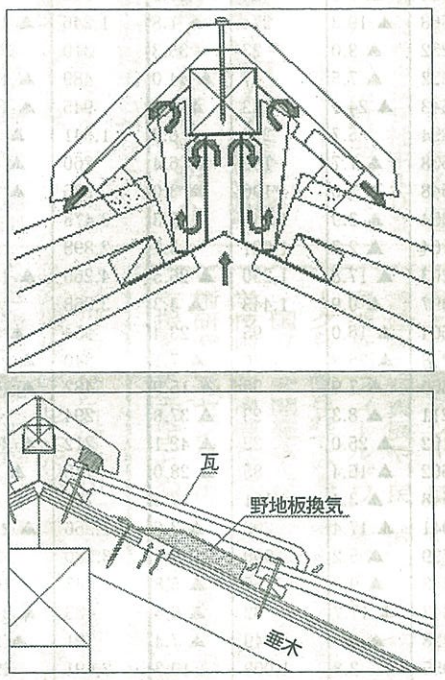
住宅金融支援機構の小屋裏換気孔の設置方法調査によると、棟換気に当たる「軒裏吸気・棟排気」は平成24年度で16%と、19年度調査より3㌽増えて拡大傾向（グラフ参照）。軒裏吸排気や妻壁吸排気など他の設置方法が揃って割合を落としているのに対し、棟換気だけが割合を増やしている。

瓦用の「スピカK」のほかスレートや金属屋根材用の棟換気も品ぞろえする㈱ハウゼコも「伸びている」。パラペット換気部材や屋根、壁の役物の商品点数は実に「7千点」。グラフの調査では屋根断熱が30%を占めて前回調査から倍増したが、「太陽光発電が増え、片流れが増えると、換気棟は採用率が下がる」と指摘した。片流れ屋根では屋根断熱が多く、「小屋裏換気措置は不要」（木造住宅の耐久性向上に関わる建物外皮の構造・仕様とその評価に関わる研究）となるためだ。

小屋裏がある場合、その片流れなどでも活用しやすいのが「瓦下換気」と呼ばれるタイプ（図㊦参照）。前出「換気スター」のほか、アイビーテクノの主力商品「カンキ棟A」もこのタイプで「長期優良住宅などでの使用」を狙い、耐久性の高い鋼板製で3年前に開発された。全国に営業展開するが、価格競争力が今後の課題となりそうだ。

図㊤は三角冠が使われているが、J形のし積み工法でも使える棟換気が「青空」や「カンキ棟A」に用意されている。もちろん瓦下換気も対応する。

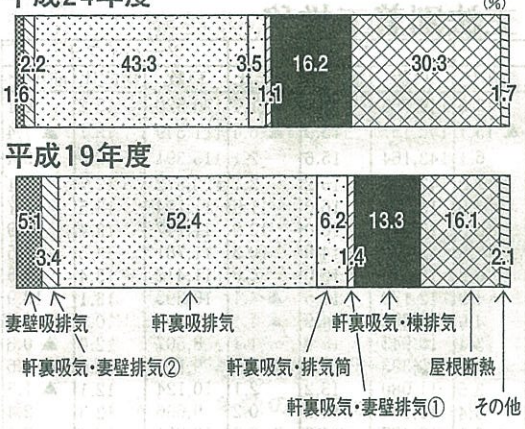
設計者にこそ棟換気の必要性が広まってきたが、「現場に行ったら野地に換気孔が開いていない、というのはいまだに聞く話」と関係者。瓦屋根の場合、瓦下の通気層を過信する傾向もあるが、合板の野地板と防水層は小屋裏に湿気を溜めやすい。換気棟は製品ごとに換気性能も異なり、メーカーでは「適正な設置方法や本数を守って欲しい」としている。



「木造住宅の外皮の研究」で例示された棟換気の納まり。「瓦上設置」と「瓦下の野地面換気」

小屋裏換気孔の設置方法

住宅金融支援機構調べ



素材・部位・性能で選ぶ 注目の換気製品

1本で61㎡に対応も

馬場商店「換気スター」

㈱馬場商店（本社・埼玉県神川町、馬場智之社長）の「換気スター」は樹脂製の換気部材。棟部取り付け用と、平部取り付け用がある。後者は下屋、片流れ、陸棟が短い寄棟などに利用でき、製品長さ645㎜の「野地600」の場合で有効換気面積は16・6㎡。475㎜の「野地455」も。

棟部取り付け用は455㎜、910㎜、1820㎜の3種類。1820㎜品の有効換気面積は1本で61・4㎡もある。

実績とステンの耐久性

片岡瓦工業の「青空」

片岡瓦工業㈱（本社・愛知県高浜市、片岡慶一郎社長）の「青空」はいまや瓦用換気棟の代名詞。三角冠、丸冠、のし積みにも対応する品ぞろえと、ステンレスを素材とする高耐久性が特長だ。低価格住宅も多い中、「住宅の耐久性を重視する傾向」に乗じて棟部からの換気方式を「良い建物」でどこまで伸ばすか。

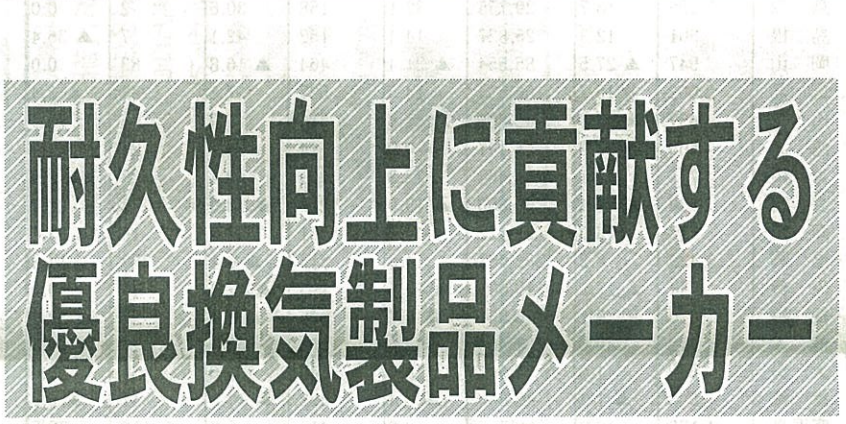
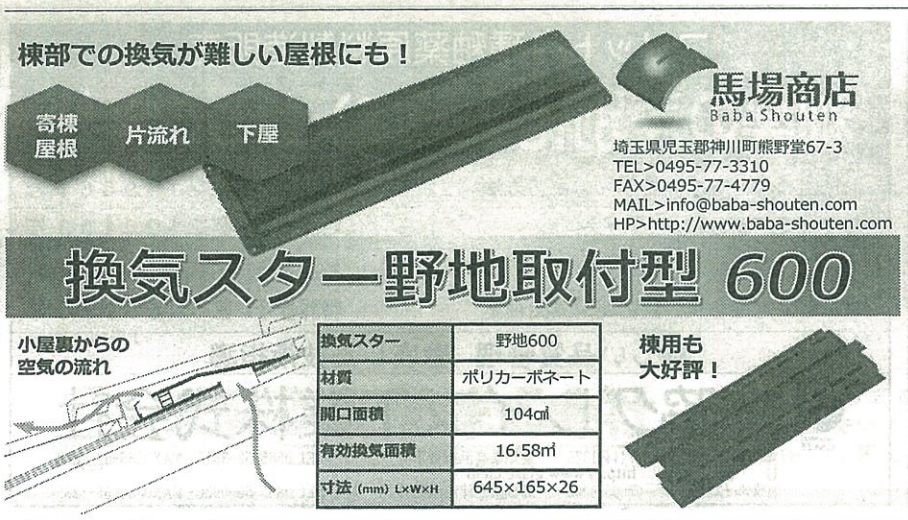
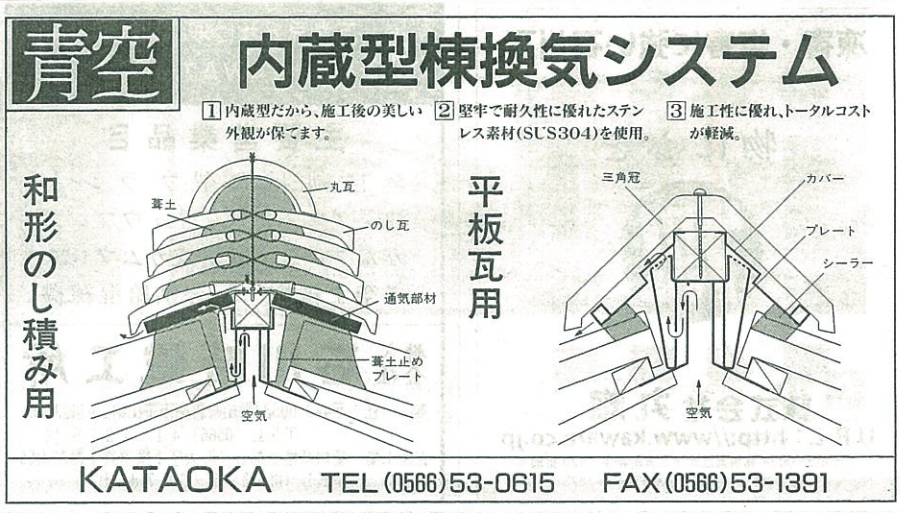
製品長さは900㎜、有効換気面積は三角冠、丸冠用で32㎡。のし積み用は27㎡。

瓦用の高耐久3製品

伊藤工業「カンキ棟A」

伊藤工業㈱技術開発アイビーテクノ（本社・茨城県行方市、伊藤保社長）は棟換気で30年の実績。「カンキ棟エース」はJ形のし積にも使える瓦下取付型、大きな換気能力の棟下取付型、片流れや下屋や野地面換気に使える兼用取付型の3商品。「長期優良住宅時代に対応する」耐食性に極めて優れた鋼板ZAM製でラインアップしている。

「一度使ってもらった工事店からリピーターが多い」という。

棟も軒も片流れも品揃え充実のハウゼコ

㈱ハウゼコ（本社・大阪市、神戸睦史社長）では数年前に一般社団法人住まいの屋根換気壁通気研究会を立ち上げた。20社からスタートした同会も会員が会員を呼び、いまや110社。換気部材は瓦やスレート屋根で棟部に使う「スピカ」、軒先用「デネブ」、片流れ用「ベガ」などラインアップ。流行のパラペットに使う製品は壁体内の通気層から湿気を排出。住宅長期使用のニーズに応える。グッドデザイン賞受賞。